

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

温泉利用プログラムによる「元気」創造計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宇土市

3 地域再生計画の区域

宇土市の全域

4 地域再生計画の目標

宇土市は熊本県のほぼ中央に位置しており、農林水産業を基幹産業としているが、地域産業の衰退と高齢化に直面している。宇土市健康福祉館は平成7年に設置された公営の温泉施設で、これまでは一般的なサービスの提供を行っていた。しかしながら、これまで、本施設の主な利用者は市内の住民に留まっており、新たな収益を生み出すような取り組みも行われてこなかった。

そこで、九州では4番目となる厚生労働省の「温泉利用プログラム型健康施設」の認定に向けて、施設の機能強化を行い、熊本市や福岡都市圏等をターゲットとして、本市に「新しいひとの流れ」を創造し、利用者数増加及び収益向上を目指す。併せて、本市が加速化交付金を活用してブランド化に取り組んでいる「機能性野菜」等の地域の農産物の販路拡大及び新たな収入の創出による域内経済の活性化を目指す。

施設においては、温泉入浴指導、健康体操、栄養管理された食事の提供をセットで販売する温泉利用プログラムを実施するほか、宇土産の「機能性野菜」等の健康食材を取り入れた「健康ランチ」、その食材となる「健康加工食品」の販売も行う。また、増築スペースは、移住希望者の相談スペースとして活用する。

これらの取組を一体として実施することで、本市への「新しいひとの流れ」を創造すると共に域内経済を活性化させ、本市の地方創生の実現につなげる。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成 28 年度 (1 年目)	平成 29 年度 (2 年目)	平成 30 年度 (3 年目)
温泉利用プログラム参加料収入	0 千円	0 千円	2,625 千円	5,625 千円
健康ランチ販売収入	0 千円	0 千円	1,313 千円	4,987 千円
健康加工食品販売収入	0 千円	0 千円	313 千円	1,187 千円

	平成 31 年度 (4 年目)	平成 32 年度 (5 年目)	KPI 増加分の 累計
温泉利用プログラム参加料収入	3,450 千円	1,950 千円	13,650 千円
健康ランチ販売収入	2,100 千円	2,100 千円	10,500 千円
健康加工食品販売収入	750 千円	750 千円	3,000 千円

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本事業は、当市において、宇土市健康福祉館を改修し、温泉施設の利用料のほか、温泉入浴指導、健康体操、栄養管理された食事の提供などをセットで販売する温泉利用プログラムを実施し、交流人口の増加と収入の増加を図るものである。

なお、温泉利用プログラムで提供する「健康ランチ」には、地域で生産される機能性野菜等の健康食材の消費拡大及び生産拡大のために、宇土で生産される健康食材や健康加工食品を取り入れることとする。

また、増築スペースについては、温泉利用プログラムに活用するだけでなく、移住者の相談スペースとして活用する。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体：宇土市

② 事業の名称：温泉利用プログラムによる「元気」創造プロジェクト

③ 事業の内容

本事業は、当市において、宇土市健康福祉館を改修し、温泉施設の利用料のほか、温泉入浴指導、健康体操、栄養管理された食事の提供などをセットで販売する温泉利用プログラムを実施し、交流人口の増加と収入の増加を図るものである。

温泉利用プログラムで提供する食事は、宇土産の健康食材を取り入れた「健康ランチ」とし、地域で生産される機能性野菜等の健康食材の消費拡大及び生産拡大を図り、地元生産者の所得向上につなげる。

また、増築スペースについては移住者の相談スペースとして活用し、移住者の増加につなげる。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

- ・温泉施設の利用料のほか、温泉入浴指導、健康体操、栄養管理された食事の提供などをセットで販売する温泉利用プログラムの利用料を新たな収入源とする。また、関係団体と連携し、新たに創設した温泉利用プログラムのPRを強化することで、市民に加え、周辺都市部住民の利用拡大を推進し、収入増を目指す。

【官民協働】

- ・市民活動団体が費用負担というリスクを負って、温泉利用プログラムに必要な芝生広場を整備し、市が本事業により健康福祉館の機能強化を図ることで、官民協働による実施環境整備を行い、魅力ある温泉利用プログラムの実施が可能になる。
- ・農事組合法人による無報酬でのノウハウ提供と、市が開発に必要な発酵器、焙煎機等の備品を準備することで、ランチに使用する健康加工食品を共同開発する。開発した健康加工食品は「健康ランチ」に使用するほか単独での販売も行う。

【政策間連携】

- ・温泉利用プログラムの中に、宇土市がブランド化を進めている機能性野菜等を活用した「健康ランチ」の提供を取り入れ、地域の農産物の販路拡大及び新たな収入の創出につなげる。
- ・増築するスペースについて、温泉利用プログラムを実施しない夜間等の空き時間については、空き家バンクの下見等で宇土市を訪れた移住希望者の相談スペースとして活用する予定としている。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成 28 年度 (1 年目)	平成 29 年度 (2 年目)	平成 30 年度 (3 年目)
温泉利用プログラム参加料収入	0 千円	0 千円	2,625 千円	5,625 千円
健康ランチ販売収入	0 千円	0 千円	1,313 千円	4,987 千円
健康加工食品販売収入	0 千円	0 千円	313 千円	1,187 千円

	平成 31 年度 (4 年目)	平成 32 年度 (5 年目)	KPI 増加分の 累計
温泉利用プログラム参加料収入	3,450 千円	1,950 千円	13,650 千円
健康ランチ販売収入	2,100 千円	2,100 千円	10,500 千円
健康加工食品販売収入	750 千円	750 千円	3,000 千円

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPI達成状況を取りまとめ、産官学金労言で構成された宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会や議会の関与を得ながら検証を行う。また、必要に応じ総合戦略の改定等を行う。検証結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 17,000千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 健康食材魅力発見事業

事業概要：温泉利用プログラム等で活用する、宇土市で生産される機能性野菜等の健康食材について、アンケート調査等で消費者ニーズをつかみながら、健康メニューの開発を行う。

実施主体：宇土市

事業期間：平成30年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目的の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、宇土市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会において結果についての評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。

なお、目標1～目標3について、いずれも、各年度末時点の実績を、施設の指定管理者からの報告により把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

毎年度、3月末時点のKPI達成状況を取りまとめ検証を行う。

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
温泉利用プログラム参加料収入	0千円	0千円	2,625千円	5,625千円
健康ランチ販売収入	0千円	0千円	1,313千円	4,987千円
健康加工食品販売収入	0千円	0千円	313千円	1,187千円

	平成 31 年度 (4 年目)	平成 32 年度 (5 年目)	KPI 増加分の 累計
温泉利用プログラム参加料収入	3,450 千円	1,950 千円	13,650 千円
健康ランチ販売収入	2,100 千円	2,100 千円	10,500 千円
健康加工食品販売収入	750 千円	750 千円	3,000 千円

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、6月に宇土市の企画担当部署においてホームページにより公表を行う。